

ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局；大代地区公民館 ☎ 364-8442

協議会の総会を終えて

会長 跡 辺 三 夫

お花見が終わって、次は青葉若葉の競演という様な春の真盛り、私達大代コミュニティの今年度の総会が開催されました。

毎年出席率が今一つということなのですが、今年は、事務局の予想が外れて用意した席が足りなくなる程だったのは、誠に結構でした。

気鋭の方々が参加され討議も活発で議長をつとめて頂いた、渡辺久さん（体育協会長）のリードも良く、お陰様で時間が不足したのでは、とも思われませんでした。

中味の程は、執行部の不手際もあって、苦慮したけれども、私の方でももう少し時間が欲しくて途中で話をさえぎられる事等、本当は淵源に遡ってのお話しも必要とも思っておりまして、時間の関係で大事な事の討議が途中で次回にまわされた「事案」が二三つ程ありましたので引き続き改善や合意形成に向けて取り組んでいきたいと思っております。



ご祝儀 お見舞いは 三千元を限度にし お返し物はしないようにお互い気を配りましょう

あいさつは心のふれあい 出会った人と あいさつしましょう

冠婚葬祭に

ついての提案

大代 西区 住民

ふれあい五月号の冠婚葬祭の記事を読みました。私も賛成です、地区にない大代だけの美風と思っております、時々他地区の方々に自慢話をしております。

私を取り組んだ例をお話し致します。家の中に色々とお返し物に手をつけずに多くある事に驚き何とか出来ないかそのチャンスがないものかと思っております。

二十一世紀(二〇〇一年)を一つの区切りとして、皆さん(親類)にお返し(病氣見舞、入学祝、就職祝、誕生祝、お歳暮、お中元等に限定)の廃止について、皆さんから賛成、反対のアンケートをとりましたところ、色々な意見がありました。例えば、病氣のお返しだけはとか、入学祝いだけとか、若し人達に任せたらとかがありました。一番難しいのは兄弟、親類に一人でも反対者がいた場合どうするかと言う事でした。一応反対者がいた所は除々にお話しすることにして賛成家系から始める事に致しました。現在は十五世帯で実施し大変喜んでもらっております。

結婚については、私も一度会費(一万円)で出席したことがありました、

今は二人だけで結婚式をあげ、私達結婚致しました宜しくご指導をとの挨拶状を頂く事があります。

貞山運河周辺清掃を終えて

環境美化部



前夜の広報活動がものをいったものか、この十二日は、前回よりもはるかに多くの方々(八十余名)のご参加を得て収穫も大変なものでした。

これは余り誉められた事ではありませんがそれにしても何十袋とゴミ袋の山を築きました。

市のシルバードの人達、それからセブインレブンの若い方三人の応援もあつてなかなか活気があり、結構な朝仕事になりました。

この間約一時間、終わって缶ジュースで喉を潤しながら、流れ解散三々五々、楽しい我が家に帰りました。

大変ご苦勞様でした。この運動はみんなでおしゃべりをしながらコミュニケーションを図り、そして子供達、孫達の大切な故郷を清々しい所にしようとの一石二鳥の試みで始まった行事です。どうぞ毎度奮ってご参加頂ければと思います。

ご参加の方でご意見がございましたら今後の参考とさせていただきますので、是非お寄せ下さい。

大人たちのための重心物語

月夜のメルヘン「7」

若生一徳(大代西)

「うさぎさんのお餅つき、とてもすばらしかったわ。仲良しで、びったりの呼吸で、お母さんも、お父さんとそれ以上だったでしょ。お父さんにとって、お母さんが一番なの。お願い、早く帰ってきてちょうだい。そしてお家でお餅つきをしましょうよ」

めぐみは、月のうさぎたちの清々しいたたずまいを見つめながら、父と母をはるかにいとおしみ、涙をしたらせて独り言をつづけた。

今宵の大役をすませた二匹のうさぎは、まだ輪をくさずさず賛嘆している仲間たちをめぐっています。ほどよくちぎって丸めた餅を一こずつ配っているのです。めぐみの手のひらにも、ひとつそつとのせられました。

「うさぎさん、どうもありがとう」

めぐみは礼を言つて、すべすべしたそのプレゼントにほおずりました。ほんのりと温かくいい匂いがして、めぐみの口中にとつと唾がわきました。うさぎたちはニコニコの笑顔とふっくらした身ぶりで、めぐみに注目しています。めぐみはまる四日間、食欲だけがなく生きる力まで失っていたのに、いま月のてっぺんで空腹におそわられているのです。自分でも驚くほどの早さであつというまに平らげました。

「ああなんというおいしさ! あらなんだか体が熱くなってきたわ」(続く)

人生は山登り

大代東 本郷 新治

人生は山登りに似ています。山登りには度胸と忍耐とが必要で、丸木橋一本の下は千仞の谷底だったり、一步踏みはずせば身が粉々になるといふ絶壁をよじのぼったり、それには、まず、度胸がいります。そして一步一步それこそ交互に足を運んで登りつめる努力、また、天候がわるくなったら、あわてず、騒がず、回復を待つ忍耐、いずれも生きて行くうえにおいて欠かせない要素です。

つねづねしつかりした度胸をつくっておくことが大切で、いたずらに恐れすぎたり、必要以上に躊躇し、逡巡したりすると、かえって転んだり、つまづいたりして、しなくてもいい怪我をします。

しかし、いくら度胸といっても、冷静さを欠いた無暴はとおりません。軽拳妄動や虚勢は必ず仕返しがかかるものです。

人生という大きな山に足を踏み入れたら、最短距離を選んで早く征服しようとか、なるべく楽なコースを行って、いやになったら途中で引き返そうとかしても、それはききません。

やはり、忍耐と努力でけわしい道を進むのみです。

そして、たとえ低い山でも、つねに慎重さと緊張した心をもって臨まない

といけない。高い山は高い山、低い山は低い山の難所というものはあるものです。どうせ大したことはあるまい、とタカをくくることが、いちばん悪いことです。また、たった一つ、山登りと人生の違いところは、山登りはやり直しができるが、人生はできないということである。

新春講演会より

地域ぐるみ生徒指導委員会

大代南区住民

山形県で開業医をされている阿部先生は、ラグビーの試合で首を骨折し、四肢麻痺と言う障害を負われました。

二年間のリハビリ後、復学した先生は多くの仲間を支えられ、現在は開業医として活躍されています。

講演会では、全国から集まったラグビー仲間が、先生の送迎や介護のボランティアをしてくださいました。「私はラグビーによって障害を受けたのですが、それを克服出来たのもそのラグビー仲間が居たからでした」と語る先生のリハビリは想像を絶するものだったようです。

気持が荒んだりハビリ中は「泣かせなかつた看護婦は居なかつた」と言います。そして「私が障害を持つことで、家族も同じく障害を持ったのです。東京で生活していた姉は介護に呼び戻され、

父母は、最後の人生設計が目茶目茶になつたのです」先生は発汗障害で汗をかき事が出来ません。真夏には体温調整のため、タオルで頭から水をかけて貰つたそうですし、排泄は毎朝、家族の手を借りて何十分も掛かるそうです。このような絶望的な状況を乗り越えられたのは、手を貸してくれた多くの仲間が居たからだ、と言います。先生の講演での結びの言葉を紹介します。

「今、自ら命を絶つ方が多いですね。私の所にも多くの患者さんがカウンセリングにやってきました。でもそのほとんどの方は、私よりずっと障害が少ない方々なのです。私は今も人の手を借りなければ生きていきません。でも私は妻を貰いましたし、科学の進歩で子供も授かりました。だから、苦しいときは一人で悩まず周りを見てご覧なさい、きっと貴方に手を貸してくれる方が居ますから。」

総会のお知らせ

大代地区婦人防火クラブ

会長 後藤 重子

日時 平成十四年六月十九日(水)

十九時から

場所 大代地区公民館(会議室)

地域の皆さんご自分の目と耳で確かめて下さい。

そして、アドバイスを頂きたいのです。

総会への参加お待ちしております。

俳句

☆ まさをなる空に輝く楠若葉

☆ 寡婦独り忙しく住んで馬酔咲く

☆ 山刀伐峠の青葉若葉の九十九折り

☆ 地藏百体赤い頭巾に燃ゆ若葉

☆ 松島の春愁とおくなる鷹崖仏

大代西区 松浦 富男

特別寄稿

☆ 手術待つ夜の病院リラ冷えす

☆ 葉桜や迷彩色の駐屯地

☆ 白椿ぼとりと音となりにけり

☆ 春風や岩に張つく鷹崖仏

☆ 屏風絵の金がかがやく春の海

笠神地区 本郷 勝子

川柳

☆ 週刊誌次ぎは誰をイブリ出す

☆ 姑留守嫁はおかわり三杯目

☆ 文化人花見の後はゴミの山

大代西区 藤田 遊子

